

(事業名) ひろしま医療情報ネットワークを活用した  
災害強化型在宅医療の推進

団体名: AA 医師会

1 事業番号 (別紙「平成28年度地域医療介護総合確保事業(医療分)事業例」又は別紙「平成28年度地域医療介護総合確保事業(介護分)事業例」から選択)								
■医療分( 1 - ) □介護分( )								
2 ワーク番号(募集要領 P.8の目標一覧から選択)								
32・33①								
3 事業概要(県民向けに事業の概要が分かるイメージ図(絵)を別途添付してください)								
<p>ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)の機能強化</p> <p>・医師以外の職種の認証基盤整備 ・在宅医療支援システムの整備 ・電子お薬手帳の整備</p>								
4 実施者								
<p>実施者数: <u>4団体</u></p> <p>(内訳)</p> <p>①AA 医師会</p> <p>②BB 歯科医師会</p> <p>③CC 薬剤師会</p> <p>④DD 看護協会</p>								
5 裨益職種(該当職種をチェックしてください)								
<p>■医師 ■歯科医師 ■薬剤師 ■看護師</p> <p>□介護福祉士 □社会福祉士 □介護支援専門員 ■理学療法士 ■作業療法士</p> <p>■言語聴覚士 □生活相談員 ■ヘルパー</p> <p>□その他(具体的職種名: )</p>								
6 計画額及び計画期間								
(1) 計画額 (単位:千円)								
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度以降		合計	
	計画額	うち基金	計画額	うち基金	計画額	うち基金	計画額	うち基金
①施設整備事業	0	0					0	0
②設備整備事業	11,500	7,667					11,500	7,667
③ソフト事業	48,195	48,195					48,195	48,195
計	59,695	55,862					59,695	55,862
※詳細は提案様式2のとおり								
(2) 計画期間								
平成28年度～平成28年度 (1年)								
7 現状と課題								
(現状)								
○ 効率的な医療連携を推進するためには、ICT を活用し電子化された医療情報を医療機関間で共有								

する仕組み（地域医療連携情報ネットワーク）が必要であり、基幹的病院を中心とした地域医療連携情報ネットワークの構築が一部の地域で進められている。

- しかし、つながりの強い一部地域の医療施設群の連携にとどまり、より広域的なネットワークとなっていないため、平成23年11月に策定した「広島県新地域医療再生計画」において、地域の医療機関の連携を促進するため、「ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)として、全国でも先駆的なメーカーに依存しない県内全域で活用できるネットワークインフラの整備を進めている。

(課題)

- ① ひろしま医療情報ネットワークは電子カルテ等診療情報を共有、連携するためのインフラであるが、利用者は医療機関を想定していたため、看護師やケアマネージャー等医師以外の職種が利用する際の認証基盤が構築されていない。
- ② ひろしま医療情報ネットワークを活用し、多職種間で共有できる在宅医療・介護支援システムが構築されていない。
- ③ 在宅医療において、患者本人に頼れないお薬手帳を介護支援者で共有できるアプリケーションがない。

#### 8 ねらい(課題解決策)

- ① 看護師やケアマネージャー等医師以外の職種が利用する利用認証基盤を構築する。
- ② 在宅医療・介護支援システムを構築する。
- ③ お薬手帳を介護支援者で共有できるシステムを構築する。

#### 9 事業の内容

ひろしま医療情報ネットワークでは、県民に安心安全な在宅医療と福祉サービスを提供することを目的として、ICTを利用した多職種連携の推進に取り組む。

- (1) 在宅医療・介護に関わる、医師、歯科医師、看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、ケアマネージャー、ヘルパー等が同一のネットワーク上で安全に協業できる環境を整えるため、権限分与の明確なセキュアな職種別利用者認証基盤を構築する。
- (2) 医師や医療福祉関連の多職種間で共有することが有効な情報を集約管理するサーバーと情報の入力や参照を容易かつ効率的とする在宅医療・介護支援システムを構築する。
- (3) 病院、診療所、薬局の協力を得て、患者のアレルギー情報、薬剤禁忌、処方情報など生命維持や健康維持に必要な最小限のデータ(ミニマムデータセット)をひろしま医療情報ネットワークで発行する地域共通 ID で紐付けしつつ、センターサーバーに蓄積するシステムを構築する。このシステムは在宅医療体制での活用に加え、日常的にオンライン電子お薬手帳として利用するとともに、災害時に被災した病院等の診療情報が閲覧できない状況において、センターサーバーに蓄積したミニマムデータセットを活用することにより、適切な医療を提供することができる。

#### 10 事業の成果目標

項目	職種別利用者認証 基盤利用者数	在宅医療・介護支援 システム利用者数	オンライン電子お薬 手帳利用者数
現状値 (H27 年度)	2,000 人	1,000 人	1,000 人
H28 年度	4,200 人	2,100 人	2,100 人
事業最終年度 (H28 年度)	同上	同上	同上

11 目指すべき姿(2025年(平成37年)のゴールイメージ)

ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)を活用し、県民に安心安全な在宅医療と福祉サービスを提供できている。

12 スケジュール

項目	H28		H29	
	10~12月	1~3月	4月~9月	10月~3月
①利用者認証基盤	構築 →	試験運用 →	本格運用 →	
②在宅医療・介護支援システム	構築 →		試験運用 →	本格運用 →
③電子お薬手帳	構築 →		試験運用 →	本格運用 →

※ 事業ごとに記載すること。

(担当者連絡先)

担当者 所属・職名	所属〇〇〇〇課
担当者 氏名	〇〇 〇〇〇
連絡先(TEL)	(082)〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先(FAX)	(082)〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先(メールアドレス)	〇〇@〇〇〇〇

※担当者は事業の内容について説明していただくことが可能な方としてください。